

目次

1. 弊社について - 弊社の価値観、弊社の行動規範.....	2
2. HSE.....	2
3. 基本的権利の尊重.....	3
a) 現代の奴隷制.....	3
b) 児童労働.....	3
c) 雇用法と最低政策基準.....	3
d) 差別禁止、ハラスメント、多様性.....	3
e) 国連世界人権宣言.....	3
4. 業務上の行為.....	3
a) XSYS の資産の利用.....	3
b) 取引と XSYS レコードの記録.....	4
c) 政治的関与.....	4
d) 慈善寄付と協賛.....	4
e) 公式調査.....	5
f) 利益相反.....	5
g) 貿易管理.....	5
5. パートナーとの関係.....	6
a) 取引先およびサプライヤーとの関係.....	6
b) 政府関係者との関係.....	6
c) 贈答品、接待およびエンターテイメント.....	7
d) 独占禁止法.....	7
6. 機密情報とデータの安全性.....	7
a) 記録と財務の整合性.....	8
b) 機密性.....	8
c) データ保護と個人データのセキュリティ.....	8
d) 知的財産.....	9
e) ソーシャルメディア.....	9
7. 腐敗防止法および倫理基準の遵守.....	9
a) マネーロンダリング.....	10
b) 詐欺.....	10
c) 政府関係者への違法な支払い.....	10
d) 商業賄賂.....	10
8. 倫理的助言と違反の報告.....	10
a) 申し立て.....	10
b) 報復.....	11
c) 倫理ポイント/完全保証ホットライン.....	11
9. 弊社へのお問い合わせ方法.....	11

1.弊社について - 弊社の価値観、弊社の行動規範

XSYS は、取引先との関係を含め、最高の倫理基準および法的基準を遵守して事業を遂行することに取り組んでいます。XSYS は、健全で持続可能な事業を構築し維持するためには、倫理的な慣行が不可欠であると確信しています。XSYS の目的は、XSYS、その役員、従業員、取引先の誠実さと正直さが決して疑われないようにすることです。

この行動規範は、最高の倫理的および法的基準に従って事業を行うという弊社の社会的責任とコミットメントを表し、弊社のミッション、ビジョン、価値観の概要となっています。一方、この文書は、XSYS が従業員またはビジネス パートナーとして皆さんに期待することを反映しています。XSYS は、期待と価値のオープンな交流に基づく協力が、組織のパフォーマンスの向上に貢献し、責任あり持続可能な生産プロセスの構築につながると確信しています。

弊社は、皆さんが弊社の目標を共有し、弊社の誠実さとコンプライアンスへの取り組みを支えるために参加してくれることを確信しています。コンプライアンスに関してご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。

法律の要件、最高の倫理基準、行動規範を遵守して、共にビジネスを続けていきましょう。

2.HSE

XSYS は、すべての従業員に対し、安全で衛生的かつ清潔で十分に照明のある労働環境を提供することを約束しています。この環境には、安全な飲料水、衛生設備および適切かつ十分な施設

へのアクセス、有害物質や危険な状況からの保護が含まれます。

XSYS は、すべての従業員が自分自身の安全に責任を持ち、安全な方法で行動することを期待しています。また、XSYS では、従業員が同僚や他の人の安全に気を配り、安全でない行動をする人を見かけたらすぐに声をかけるようお願いしています。

労働災害ゼロは、XSYS の基本的な目標です。すべての職場活動は、新規または現行の作業工程、製品開発、設計を検討する際に、この基準を指針として使用します。

XSYS では、すべての従業員が安全かつ健康的に業務を遂行できるように、必要なシステム、ツール、トレーニングを提供しています。

同様に、XSYS はサプライヤーと請負業者が職場の健康、安全、環境保護に関する XSYS の見解を共有し、弊社の基準に従うことを期待しており、すべての適切な許可と承認を得たサプライヤーと請負業者とのみ契約を結びます。XSYS は、排出物による汚染を削減し、水の消費と廃棄物の削減を含む総合的な環境パフォーマンスを向上させるよう努めます。

XSYS は、地域社会、環境、天然資源への事業活動による悪影響を最小限に抑えることにより、環境責任を果たしています。すべての必要な許可、登録、報告が取得され、維持され、最新の状態に保たれます。

XSYS は国連グローバル・コンパクトの署名企業であり、人権、労働、環境および腐敗防止に関する国連グローバル・コンパクトの 10 原則の精神に則って事業を運営しています。国連グローバル コンパクトとその原則は、弊社の戦略、文化、日常業務に組み込まれています。XSYS は、

国連が掲げる幅広い開発目標、特に「持続可能な開発目標」を推進するための共同プロジェクトに取り組んでいます。

3. 基本的権利の尊重

XSYS は、労働者の人権を守り、尊厳と尊敬をもって労働者を扱うことを約束します。

a) 現代の奴隷制

XSYS は、事業を展開する各国の法律を遵守し、強制労働、奴隷制、隷属、人身売買など、いかなる形態の現代の奴隷制も容認しません。

b) 児童労働

XSYS は、経済的搾取から保護されるすべての児童の権利を認識し、従業員の最低雇用年齢に関して、事業を行う各国の法律を遵守しています。さらに、XSYS は「子どもの権利に関する国連宣言」を常に遵守しています。

次を参照：<https://www.unicef.org/child-rights-convention/convention-text>

c) 雇用法と最低政策基準

XSYS は、雇用を提供する各国の適用される雇用法、規制、業界基準を遵守しています。XSYS の従業員には、提供するサービスに対して公正な賃金が提供されるものとします。XSYS は、世界中の従業員が、いかなる形のハラスメント、いじめ、脅迫、無礼な扱い、脅迫的な職場環境などに苦しむことがないことを期待しています。

XSYS は、適用法令に基づく従業員の結社の自由および団体交渉を妨げないものとします。

d) 差別禁止、ハラスメント/モビングおよび多様性の尊重

XSYS は、各従業員の尊厳と、あらゆる種類のハラスメント/モビング、または虐待のない職場の権利を認識しています。XSYS は、体罰や懲戒処分の脅し、あるいは肉体的、性的、人種的、心理的、言葉によるものを含め、従業員によるいかなる種類のハラスメント、脅迫、いじめ、虐待も固く禁じています。採用、給与、福利厚生、昇進、解雇、退職に関する決定は、従業員の職務遂行能力のみに基づいて行われます。XSYS は、特に人種、肌の色、宗教、国籍、社会的、民族的出身、年齢、身体的、精神的、感覚的障害、性的指向、性同一性・表現、結婚、市民団体、家庭内パートナーシップのステータス、過去または現在の兵役、家族または親としてのステータス、その他 XSYS の営業地域における法律または規則で保護されているステータスに基づいて差別することはありません。

e) 国連世界人権宣言

XSYS は、国連の世界人権宣言の精神を尊重し、支持しています。

次を参照：<https://www.un.org/en/about-us/universal-declaration-of-human-rights>

4. 業務上の行為

a) XSYS の資産の利用

XSYS の資産は、該当する各ポリシーで定義されている XSYS の正当なビジネス目的のためにのみ使用され、権限を与えられた従業員またはその被指名人によってのみ使用されます。

これには有形固定資産と無形固定資産の両方が含まれます。有形資産の例としては、電話、コピー機、パソコンなどの事務機器、家具、消耗品、生産設備などがあります。インターネットと電子メールは、個人的な使用ではなく、業務用として XSYS の従業員に提供されます。さらに、ユーザーは、XSYS のネットワークおよびインターネット サービス プロバイダーの許容可能な使用ポリシーを含むがそれに限定されない、適用される法律および契約上のコミットメントの要件に拘束されます。

b) 取引と XSYS レコードの記録

XSYS のすべての帳簿、記録、口座、資金および資産は、関連する取引が発生した適切な会計期間において、XSYS 事業の基礎となる取引および処分を合理的な詳細さで公正かつ正確に反映するように維持されなければなりません。XSYS の取引の真偽を意図的に隠したり、偽装したりするようなエントリは行わないものとします。この点については、以下のガイドラインに従う必要があります。

1. いかなる目的であれ、未公開、未記録、あるいは「簿外」の資金や資産を設定してはなりません。
2. 虚偽または架空の請求書を支払ったり、作成したりしてはなりません。
3. 虚偽または人為的なエントリを作成したり、誤解を招くレポートを発行したりしてはなりません。
4. XSYS の資産と負債は、随時改訂される XSYS の標準的な慣行と一般に認められた会計原則に従って認識され、表示されるものとします。

c) 政治的関与

XSYS のポリシーでは、会社の資金をいかなる候補者や政党へのいかなる種類の政治献金にも使用することはできません。

この禁止は、直接の献金だけでなく、特別な夕食会やその他の資金集めイベントへのチケットの購入、および政党や委員会へのその他の物品、サービス、機器の提供を通じた、候補者や政党への間接的な援助や支援も対象としています。いかなる者も、XSYS から直接または間接的に、政治献金や政治イベントへの参加費用の払い戻しを受けることはできません。

いかなる種類の政治的なロビー活動も禁止されています。

d) 慈善寄付と協賛

慈善寄付は、価値ある大義に対して金銭や現物で貢献する方法です。XSYS は、教育、文化、社会、人道、環境の各プロジェクトを促進し、コミュニティの参加を促進するために寄付を行います。その見返りとしてビジネス上の利益を期待するものではありません。

慈善寄付は、XSYS の倫理観と法律に従い、XSYS の社内規定である「ギフト&エンターテインメントポリシー」に厳密に従って、透明性のある方法で行われます。

協賛は、XSYS ブランドを強化する方法を提供します。これらは、XSYS の事業利益に貢献し、広告や広報目的などの特定の利益を得ることを目的としているため、慈善寄付とは異なります。協賛は、XSYS の社内規定「Gifts & Entertainment Policy」（ギフト&エンターテインメントポリシー）で定義された、厳密で透明性のある承認プロセスに従います。協賛活動は、正当な事業目的を反映し、弊社の価値観と一致する場合のみ承認されます。

e) 公式調査

検察当局や政府規制当局は、法律違反の可能性を調査し、文書を要求し、XSYS の従業員にインタビューや証言を求める広範な権限を持っています。

XSYS のポリシーは、政府調査官の合理的な要求に協力することです。同時に、XSYS は、法定代理人を含め、捜査対象者または不正行為で告発された者の利益のために、法律によって提供されるすべての保護を受ける権利があります。政府または政府機関が XSYS の従業員に接触したり、調査のためにデータや文書へのアクセスを要求した場合、従業員は直ちに上司と XSYS のコンプライアンスチームに通知するものとします。

f) 利益相反

利益相反は、ある人が自分の立場の義務や要求と、自分の私的利益との間で選択を迫られたときに発生します。利益相反は、（実際の、潜在的な、または知覚される）贈収賄のリスクを引き起こす可能性があります。

利益相反は、クライアントとの関係や XSYS の評判を損なうだけでなく、XSYS を法的な結果にさらす可能性があります。

したがって、コミュニケーションと警戒は、お客様の個人的な利益や関係が弊社やクライアントと衝突しないようにするために不可欠です。弊社を代表してクライアントと仕事をするときには、プロ意識を持ち、偏見がなく、公平でなければなりません。

利益相反には、次のようなものが含まれます。

1. XSYS 以外の仕事や雇用。
2. 顧客や競合他社との社外取引関係、または利害関係。

3. XSYS を代表して、親族や個人的な友人、またはそのような人物が支配する会社と取引関係を持つこと。
4. 親族または恋人である人の報酬に影響を与えたり、支配したりする地位、または
5. XSYS の社内規定である「Gifts & Entertainment Policy」（ギフト&エンターテイメントポリシー）で定義されている適度な贈答品や接待を超えるような個人的利益を、XSYS と取引のある、または取引を予定している個人または組織から受け入れること。

従業員は、従業員と XSYS との間で利益相反の可能性のある状況を上司に開示する義務を負っています。この規範を完全に遵守するためには、従業員の上司に事前に通知することにより、潜在的な相反を開示することが重要です。

g) 貿易管理

XSYS の社員は、輸出規制、輸入要件、経済制裁法（以下、総称して「貿易管理」）など、国際貿易を管理する法律に特に注意する必要があります。

貿易管理は一般的に以下を対象とします。

1. 適切なライセンスまたは認可を得ずに、禁止または制裁されている国または地域、団体または個人に対して輸出または再輸出。
2. 制裁対象国、地域からの、またはその地域を起源とする輸入または財産取引。
3. 制裁を受けた団体または個人との輸入または財産取引。
4. 制裁対象国、領土、団体、または個人との商取引。
5. 制裁対象国、地域の人々に、電子メール、ダウンロードまたは開示により、

ライセンスなしに、制限された製品、ソフトウェア、技術データまたは技術を移転。

6. 特定のボイコット活動に従事することの禁止。

XSYS が事業を展開している国の中には、特定の国、地域、団体、個人を対象とした貿易制限を課しているところがあります。また、ほとんどの国は、特定の製品、技術、ソフトウェア、サービスの輸出と最終的な使用に対して定期的に規制を課しています。

これらの法律に違反した場合の罰則は非常に重要です。罰則には、民事または刑事上の罰金、懲役、輸出許可の取り消し、および政府との契約に基づく業務の禁止が含まれる場合があります。また、これらの法律は、法律を成立させた国以外の人物や活動にも適用されることが多くなります。

XSYS のために、または XSYS 名義で働く者は、常に適用される貿易管理法および規制を遵守して行動しなければなりません。したがって、XSYS は次のことを行います。

1. XSYS の原材料、製品、サービスの出荷に適用される輸出入規制、および適用される国際貿易協定を遵守します。
2. XSYS およびその事業に適用される貿易禁止や経済制裁の対象である国や地域と取引を行いません（輸出入は行いません）。

5. パートナーとの関係

法令遵守にとどまらず、XSYS の全従業員および第三者は、職務と責任の遂行において、高い企業倫理および個人倫理を遵守することが求められます。

そのためには、他の XSYS 社員、一般市民、ビジネス界、顧客、潜在顧客、サプライヤー、競合他社、政府および規制当局との取引において、あらゆる面で誠実、高潔であり、健全な判断力を実践することが必要です。XSYS は、パートナーとの公正かつ客観的な関係を構築し、維持することに尽力しています。パートナーとの関係は、透明性、同等性、文書化の原則に基づいている必要があります。

a) 取引先およびサプライヤーとの関係

XSYS の取引先およびサプライヤーは、この行動規範に記載されている価値観に賛同するものとし、最高水準のビジネス行動規範に従うことが期待されています。これらはすべて、本規範および/またはサプライヤー行動規範に記載された価値観に準拠しています。

XSYS は、第三者仲介業者（「TPI」）に対してデューデリジェンスを行い、誠実に行動し、すべての適用法および XSYS ポリシー（特に XSYS 行動規範）を遵守する、信頼できる適格な TPI とのみ取引を行うものとします。

b) 政府関係者との関係

「政府関係者」とは、国、連邦、州、地域、地方を問わず、政府の役員、職員、代表者、任命または選出に関わらず行政、司法、立法機能を行使する者、政府が所有または支配する事業体の役員、政府が所有または支配する事業体、公職候補または保有者、政党幹部、王族、世界のあらゆるレベル（国、地域、州、地方レベル）の政府の公務員または役員・職員等を指します。

政府が所有または支配する団体には、大学や公益企業、政党、公的な国際機関などがあります。

XSYS のコンプライアンスチームの事前承認がない限り、いかなる形式の接待を含む贈答品を政府関係者に直接または間接的に提供することはできません。いかなる状況においても、現金、旅行、その他の利益の提供を含むサービスや便宜を、直接的または間接的に政府関係者に提供することはできません。

c) 贈答品、接待およびエンターテイメント

優遇措置の報奨または励ましとして授受する贈答品、接待、エンターテイメントは禁止されています。特定の状況下では、XSYS の社内規定である「Gifts & Entertainment Policy」（ギフト&エンターテイメントポリシー）に従って、適度な贈答品やエンターテイメントの授受が許容されます。例えば、ビジネスでの食事は、リラックスして情報交換をすることができます。しかし、その規模や頻度、提供される状況によっては、賄賂や政治献金、不当な影響力に該当する可能性があります。ギフト、ホスピタリティ、エンターテイメントの具体的な制限と要件に関する詳細については、XSYS の社内規定「ギフト&エンターテイメントポリシー」を参照してください。

贈答品やエンターテイメントの中には、決して受け入れられないものもあります。例えば、現金や現金同等物（小切手などの有価証券、商品券、プリペイドカードなど）、またはわいせつなものや不適切なものなど、弊社の評判を傷つけるような贈答品や娯楽です。

d) 独占禁止法

XSYS は、自由で公正な競争の原則に取り組んでいます。

事業活動を行うすべての国で適用される競争法および規制を常に遵守しながら、精力的かつ効果的に競争することが弊社のポリシーです。したがって、次のことを覚えておく必要があります。

1. 価格、契約交渉、生産能力、生産コスト、商業戦略や計画、入札の意図、顧客や市場シェアなど、商業上重要な情報を開示したり、競合他社に求めたり、交換したりしない。
2. 特定の事業に関連する場合を除き、競合他社または潜在的な競合他社との合弁事業における商業的に機密性の高い情報について議論しない。
3. 業界団体に参加する際に、商業的な機密情報について話さない。
4. 競合他社に製品を販売する場合、または競合他社から製品を購入する場合は、取引を完了するために正当に必要とされる情報のみを交換する。
5. いかなる状況においても、価格、コスト、条件、顧客、市場、生産、事業計画、その他競争に影響を与える可能性のある事項について、競合他社といかなる合意も行わない。価格を固定したり、市場を割り当てたりするための暗黙の合意は、口頭または書面による合意と同様に違法です。

6.機密情報とデータの安全性

a) 記録と財務の整合性

会社の記録には、紙の文書、データベース、電子メールまたはインスタントメッセージ、音声メッセージ、図、写真など、さまざまな形式があります。すべての XSYS レコードは、いつでも監査および検査の対象になります。政府の捜査を妨げ、妨害し、影響を及ぼす目的で、故意に記録や文書を改ざん、破壊、切除、隠蔽、虚偽の記入をすることは犯罪です。

財務の健全性とは、財務報告が正しく、一貫性があり、完全で、正確であることを確認することであると定義することができます。それには、透明性、開放性、高品質の仕事、利益相反の回避、公平性と職業倫理の高い基準の中で、スキル、知識、経験を適用することが含まれます。

b) 機密性

XSYS は、自社の機密情報を事業運営上の重要な資産と考え、この情報の不正使用や開示を禁止しています。XSYS は、機密保持契約に基づき、他社から機密情報を受け取ることがあります。従業員は、この契約で要求されている情報を保護する必要があります。XSYS は、他社の専有情報に対する権利を尊重し、従業員に対し、その権利を保護する適用法令の精神と文言の両方を完全に遵守することを要求します。

XSYS またはその事業、従業員、顧客、サプライヤーに関する非公開情報はすべて機密情報とします。

機密情報は、意図された事業目的のためにのみ使用することができます。機密情報は、家族や友人を含む XSYS 社外の許可されていない人物や、職務遂行に情報を必要としない他の従業員と共有してはなりません。XSYS の従業員は、

XSYS での雇用の過程で特定の機密保持契約を結ぶことが要求される場合があります。したがって、以下の非網羅的な機密情報のリストは、ガイダンスを与えることはあっても、内容や範囲に関して決定的なものとは見なされません。

以下は、機密情報の網羅的でないリストです。

1. XSYS がパブリックドメインで公開する前の XSYS の現在および予測の取引結果。
2. 企業秘密。式、プログラム、方法、プロセス、技術、編集、または一般に知られていないために価値のある情報など、ビジネス上または技術上の情報を含みます。
3. 従業員が XSYS の施設または企業秘密情報を使用して開発した、XSYS の業務に起因する、または XSYS の事業に関連するあらゆる発明またはプロセスに関するすべての権利。
4. 顧客の詳細、入札、価格および条件。
5. サプライヤーの詳細、入札、価格および条件。
6. 生産工程、生産能力、生産量。
7. 顧客リストや顧客の機密情報などの専有情報。
8. XSYS に関わるすべての広報活動（純粋な取引に関する発表を除く）は、最高経営責任者の事前の許可を得る必要があります。

c) データ保護と個人データのセキュリティ

XSYS は、組織全体のあらゆる領域で、最高レベルの信頼とセキュリティ基準を確保することを約束します。法的要件と技術開発により、個人データのプライバシーを効果的に保護する必要性が高まっています。

個人データを処理する際には、責任と義務を理解することが不可欠です。XSYS は、処理中の個人データが合法的に管理され、機密性と安全性が保たれることを保証します。これは、収集された時点から、あらゆる形式での処理を経て、第三者との間での転送を通じて、最新または不要になった時点で破棄されるまで続きます。

安全な保管と適切な処理を確保することにより、XSYS が個人データを損失や損傷から保護することは重要です。弊社は、皆さんが十分な敬意と誠実さを持って行動し、必要な安全基準を適用することを期待します。

d) 知的財産

XSYS は、他者の知的財産権（「IP」）を尊重し、従業員が合法的な商品やサービスのみを購入することで、個人的にも他者の知的財産権を尊重することを期待しています。価格的な優位性があるとしても、会社のために偽物を故意に購入したり、使用しないでください。会社の設備を使って、映画、音楽、ソフトウェアなどの製品を違法にダウンロードしたり、転送したりしないでください。そのようにすると、XSYS が危険にさらされる可能性があります。

知的財産法には、特許、商標、著作権の3つの主要な分野があります。

特許は、新しい製品やプロセス、あるいは新しい技術的解決策を最初に発明した人に独占的な権利を与えます。特許は、限られた期間、通常は20年間、特許所有者を保護します。特許は、独占的なプロモーションを通じて発明者に利益というインセンティブを与えることで、イノベーションを促進します。特許法は、業界で一般に知られていない情報として定義される企業秘密も保護します。

商標は、企業の「善意」、すなわち、企業名やブランドへの投資、あるいは企業名や製品を一般に伝える特徴的な標識などを保護します。

著作権は、特定の著作者の創造的著作物を保護し、著作物の複製、出版、公の場での上演、翻訳、または電気通信を介して一般に伝える権利を管理します。著作権は、すべての独創的な文学および芸術作品（コンピュータソフトウェアを含む）に適用されます。

e) ソーシャルメディア

XSYS は、従業員がソーシャルメディアアカウントを使用する際、閲覧者を尊重し、適用されるすべてのポリシーとガイドラインを遵守し、自身の見解が会社の見解を代表していると誤解されないようにすることを期待します。企業秘密、財務情報、法的手続き、マーケティング計画、顧客、同僚、サプライヤーに関する個人情報など、弊社 XSYS の機密情報を開示することは禁じられています。XSYS の従業員は、承認なしにクライアント、パートナー、サプライヤーを照会することはできません。

7. 腐敗防止法および倫理基準の遵守

XSYS の事業活動は、XSYS が事業活動を行う国で適用されるすべての法律および最高の倫理基準を遵守しています。他の市場参加者が贈収賄、詐欺、リベート、政府や他の個人や団体への過払いなどと受け取られる可能性のある市場慣行は容認されません。XSYS は、XSYS および/または XSYS 名義で働く人々が関わる不正行為またはその疑いがある場合、従業員に報告するよ

う求めています。報告チャネルの詳細については、以下のセクション9を参照してください。

a) マネーロンダリング

マネーロンダリングは、犯罪者が違法な収入源を隠すために利用するプロセスです。複雑な送金や取引、または一連のビジネスを通じてお金を渡すことにより、お金はその不正な出所を「洗浄」され、正当な事業利益であるかのように見せかけることができます。XSYS のために、または XSYS 名義で働く者は、マネーロンダリング、犯罪活動への資金提供、または違法行為の支援の手段として自分自身が利用されたり、または悪用されたりすることを決して許してはなりません。

b) 詐欺

XSYS の資産またはパートナーの資産の不正使用を含む、皆さんまたは第三者への金銭的またはその他の利益の流用または適切な取引は、本規約および皆さんの契約条件に違反するだけでなく、ほとんどの法域において犯罪行為となります。XSYS は、その他の権利を行使することに加えて、詐欺行為または違法行為を調査し、必要に応じて関係当局に報告します。

c) 政府関係者への違法な支払い

現地の慣習に関わらず、XSYS はいかなる場合においても「円滑化のための支払い」、すなわち、政府の日常的な行為（書類の処理、許可の発行など）に対して、職務の遂行を早めるために政府関係者に支払うこと（すなわち、すでに行うことが決まっている行為）は認めていません。「円滑化のための支払い」には、現地政府当局

に支払われる現地の法律や規則で定められた料金の支払いは含まれません。

d) 商業賄賂

XSYS は、XSYS へのビジネスチャンスの付与、XSYS に有利なビジネス上の意思決定、不適切な行為の実行を意図するなど、個人に影響を与えるための支払いや現物支給（贈答品、好意など）の申し出、作成、要求、受領を容認しません。

既存事業の継続や新規事業の獲得を目的とした商業的な贈収賄は認められず、いかなる場合にも禁止されます。

また、コンサルタントやコミッション契約などの商業的な取り決めや、慈善寄付金への寄付が贈収賄の隠れ蓑として使用される可能性があることにも注意する必要があります。すべての第三者の手配および慈善寄付は、XSYS のポリシーに従ってのみ行うことができます。

このような行為は、行動規範に違反するだけでなく、現地の法律にも違反し、従業員に対して、罰金や禁固刑、または懲戒処分などの制裁が科される可能性があります。しかし、独立した商業交渉による購入の前金、手数料、ボーナス支払い、または製品ファイナンスの取り決めは合法的です。

8. 倫理的助言と違反の報告

a) 申し立て

報復に対する XSYS のゼロ寛容ポリシーは、申し立てすることが常に正しい行動であるという XSYS の信念と密接に関連しています。

すべての報告は真摯に受け止められます。それぞれの申し立ては調査され、立証された場合には、適切な是正措置および/または懲戒を通じて解決されます。

XSYS は、調和のとれた生産的で安全な職場づくりに取り組んでいます。XSYS の基本理念は、尊敬と相互信頼です。脅迫、ハラスメント/モビングや暴力行為は容認されません。

b) 報復

XSYS は開示性であることを推奨しています。会社は、たとえそれが根拠のないものであったとしても、正当に懸念を表明する従業員を全面的に支援しています。XSYS は、XSYS の行動規範、ポリシー、法律に従わない行為に関する懸念を報告するために誠実に発言した人に対する報復を、いかなる場合にも容認するものではありません。

c) 倫理ポイント/誠実保証ホットライン

XSYS は、組織全体で最高レベルの倫理観と誠実さを育成することに全力を尽くしています。弊社は、皆さんが尊敬の念を持ち、誠実で倫理的な方法でビジネスを行うことを期待しています。ただし、不適切な商習慣について真に懸念がある場合は、その限りではありません。EthicsPoint（倫理ポイント）は、こうした懸念を安全かつ確実に報告するのに役立ちます。

EthicsPoint は従業員およびサードパーティ向けの機密サービスで、XSYS とは独立した外部企業によって管理されており、現地語での通話に対応できるトレーニングを受けたスタッフがいます。倫理ポイントは、24 時間 365 日、Integrity Assurance Hotline（誠実性保証ホットライン）または Web ベースのポータルで利用

でき、不正行為を報告するための安全で機密性の高い手段を提供します。

レポートは EthicsPoint セキュアサーバーに直接入力され、セキュリティ侵害の可能性を防ぎます。EthicsPoint は、これらの報告を匿名で社内の特定の個人にのみ提供し、その個人は違反の種類と事件の場所に基づいて報告を評価し、調査します（報告者から要請があった場合）。これらの報告書の受領者はそれぞれ、これらの報告書を極秘に保管するためのトレーニングを受けています。

詳細については、Web ベースのポータルを参照してください。

xsys.ethicspoint.com

9. 弊社へのお問い合わせ方法

XSYS 行動規範は、すべての従業員と取引先を拘束します。弊社の行動規範、サプライヤー行動規範、弊社の方針、またはその他の地域の法律に違反している、または違反する可能性のある状況に気づいた場合は、直ちにご連絡ください。

皆さんのご都合のよい方法でご連絡ください。また、皆さんのご懸念に耳を傾けることをお約束します。

お問い合わせ:

- XSYS 従業員のスーパーバイザーまたはマネージャ
- ホットライン（EthicsPoint）

- 米国 - 電話: 844 800 3723 または
+1 844 800 3723

- ベルギー - 電話: 0800 77 267 または +32 800 77 267
- ドイツ - 電話: 0800 181 6930 または +49 800 181 6930

- **EthicsPoint** で報告を作成する-詳細については、Web ベースのポータルを参照してください。

xsys.ethicspoint.com

- 個人データの処理に関連する場合は、次の、**XSYS データ プライバシー スペシャリスト**にお問い合わせください。

data.protection@xsysglobal.com